

お仕事おつかれさまです。CSR委員会です。

ちょっとしたフレークに読んでいただければ幸いです！

CSRって、いつからはじまったの？

正文舎は、3年前からCSRに取り組んでいますが、CSR（企業の社会的責任）の始まりはいつからなのでしょう。

世界的に1990年代頃から始まりましたが、地域、国家により発展の仕方が、違うようです。

ヨーロッパでは、各国政府が企業の社会問題の解決に対し、企業が貢献すべきとして、環境の配慮や労働問題などについて自発的に組み込むこととして始まりました。

アメリカでは、ヨーロッパとは異なり、政府が直接的にCSR推進に関わらず、民間団体や市民団体が中心となり、企業は利益を追求するだけでなく、コンプライアンス（法令遵守）、環境への配慮、コミュニティへの貢献などが求められることから始まりました。

では、日本では？

日本でも1990年代頃から企業の社会貢献活動が盛んに行なわれるようになりました。

しかし当初は、企業の社会的責任とは、社会への貢献や企業イメージの向上を図る慈善活動のように考えられ、収益を上げた企業が行う活動と誤解されていました。

ところが、近年、企業の不祥事や法令順守の問題などが大きく問われることが多くなり、経済団体などでCSRの普及に努めはじめ、中小企業においても、取り組むべき課題となりました。いまや日本のCSRの活動内容には「**法令厳守**」「**商品・サービスの提供**」「**地球環境の保護**」等々、商品や環境に対する事項が本質となりました。最近では「**従業員のあり方（資質・技能・能力）**」も含まれ始めており、「**従業員自体の品質向上**」に向けて対策を取る企業もあるのです。これは、「従業員が起した問題は企業の責任」と云う考え方がベースにあるからです。

正文舎のCSR活動も、どんどん成長していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひします。